

# シンポジウム「ロシア古儀式派のイコン」のご案内

この度、ロシア連邦国立歴史博物館（モスクワ）の研究員を迎えて、下記のとおり、富山大学にてシンポジウム「ロシア古儀式派のイコン」を開催いたします。関係者の皆様、テーマに関心のある方々の参加を呼びかけます。参加は自由です。シンポジウムの言語はロシア語ですが、通訳がつきます。

日時：平成 27 年 6 月 1 日（月）14:00～17:00

場所：富山大学五福キャンパス人文学部棟 316 演習室（正門を入れて奥の建物 3 階）

<http://www.u-toyama.ac.jp/access/gofuku/index.html>

報告：

1. Миядзаки, Идзуми. Первый иконостас в Соборе Воскресения Христова в Токио（宮崎衣澄「東京復活大聖堂（ニコライ堂）の最初のイコノスタスについて」）
2. Накадзава, Ацуо. Иконы старообрядческого происхождения из коллекции Музея Нисиды.（中澤敦夫「西田美術館の古儀式派由来のイコンについて」）
3. 特別講演：Юхименко, Елена. «Старообрядческая иконопись: проблемы изучения, публикации и музейного экспонирования»（ユヒメンコ・エレナ「ロシア古儀式派のイコン：その研究、出版、博物館展示における問題点」）



西田美術館所蔵「聖母の庇護」

※ 前日の 5 月 31 日（日）14:00 からユヒメンコ氏とともに西田美術館（富山県中新川郡上市町）見学を予定しています。

## 報告者紹介

**宮崎衣澄**：富山国立高等専門学校准教授。ロシア宗教史、ロシアイコン美術専攻。著書に『暮らしの中のロシア・イコン』（2012 年）、『西田美術館のロシア・イコン（調査報告書）』（いずれも中沢・宮崎共著）。また論文集シリーズ『ロシアの古儀式派（17～20 世紀）』に西田美術館の古儀式派イコンに関する論文（ロシア語）を寄稿している。

**中澤敦夫**：富山大学人文学部教授。専門は中世ロシアの文学・文化史。上記の共著の他に『ロシア古文鑑賞ハンドブック』（2011 年）、共訳書に『東方教会の絵画指南書・ディオニシオスのエルミニア』（1999 年）がある。

**ユヒメンコ、エレナ (Elena Yukhimenko)**：ロシア連邦国立歴史博物館（モスクワ）手稿部主任研究員。ロシア古儀式派の歴史・文化研究の世界的権威。この分野で 306 点の研究業績をあげており、うち 13 点は単著の研究書。おもな研究書として『ヴィグ古儀式派修道院：その霊的生活と文献』（2002 年）などがある。論文集シリーズ『ロシアの古儀式派（17～20 世紀）』（現在 4 冊まで刊行）の編集者もつとめている。

古儀式派文化の重要な要素としてのイコン崇拜についても造詣が深く、2012 年にはロシアのコレクター G・レプスが持つ古儀式派イコンの研究カタログも刊行している。